

事業名称：豊岡プチロックフェス

団体名：豊岡プチロックフェス実行委員会

1 事業内容

事業の名称 豊岡プチロックフェス

日時 6月8日

場所 豊岡劇場

内容 ・但馬近郊の他、全国から17組が集結(豊岡の学生も出演)

・合言葉は「心の扉を開け放て！」

・事前に豊岡のイメージソングを作成

└豊岡市民から言葉を集めて作詞・作曲

└豊岡市民バンドを結成し、フェスの当日、豊岡ソングを披露

・スペシャルゲストは元祖青春パンクの代名詞『ガガガ SP』のコザック前田氏

【事業経過】

月 日	実施内容	場 所	参加人数
5月30日	豊岡ソング『今ココ TOYOOKA』の歌を録音	近畿大学付属豊岡高校 &会長自宅 (編曲:長野市安曇野)	高校生30 + 大人2
5月30日	豊岡市民バンド 『Imacoco band』のリハーサル	Studio S	大学生5 + 大人5
5月30日	駐車場・駐輪場・楽屋手配	光行寺、ちびっこ広場ほか、 豊岡劇場近隣	4
5月30日 ～	広報活動 (ポスター掲示、チラシ配布、 SNS、ラジオなど)	但馬全域、神戸、京都、鳥取	8
6月1日 ～	司会・PA・照明ミーティング、 資料・備品準備	FMジャングル事務所、 豊岡劇場、グループLINE	10
6月1日 ～	豊岡ソング MV 作成	だいかい通り、円山川を中心 に豊岡市内各所で撮影	カメラ・編集:2 キャスト:約30
6月7日	機材搬入・受付準備	豊岡劇場	約15
6月8日	本番	豊岡劇場	出演者・スタッフ・来場者あわせて、 約200名
～7月17 日	精算・報告書作成	FMジャングル事務所内	1

2 事業の効果

(1) 団体(組織)内の効果

今回は初めての開催で、実行委員会を形成するために仲間を作るところから始まった。

たった一人で始めて、ひとりふたりと協力者ができ、実行委員会に必要な人数が集まった。次第にボランティアスタッフに立候補して下さる方が出てきて、最終的にスタッフは25名ほどになった。主体的に考え行動してくれる、信頼できる素晴らしいチームだった

(2) 地域への波及

フェスに向け豊岡市民から言葉を集めて、豊岡ソングを作成。できあがったデモに豊岡市民で歌を録音。高校生も30名ほどが録音に参加。完成した曲を、ラジオやWEBで拡散したところ大好評。

フェス当日は豊岡市民10名で結成したバンドで生演奏。歌詞を配布し、来場者と共に歌った。

フェスの総括としては、一番大変だったのは広報だったが、地域住民の協力を得て、想定以上の方にご来場いただいた。出演者や来場者・スタッフあわせておよそ200名が、音楽で一つになった感動を、その目と耳と心に焼き付けた一日となった。大人も子供も心の扉を開け放ち、青春を体感した一日であった。FMジャングルではフェスのあとも、豊岡ソングへのリクエストが後を絶

たない。代表としてご協力いただいたすべてのみなさまに感謝している。

3 協働の相手方

- ・豊岡劇場：当日の会場、事前の広報・チラシの修正作業・駐輪場の確保、ボランティアスタッフ
- ・だいかい文庫：豊岡ソングのコトバ集め（ノートを設置）、チラシの修正作業
- ・近畿大学付属豊岡高等学校：軽音楽部から3バンドがフェスに出演、校内放送で広報、
豊岡ソングの歌の録音&MVの撮影&編集、ボランティアスタッフ
- ・ベジーデプラス、アキサミヨ、しゃんらん：出店者
- ・TOYS927：出演者の楽屋として豊劇隣のゲストハウスをレンタル、ボランティアスタッフとしても協力
- ・BookStore Ichi：遠方からの出演者の宿泊先兼、豊岡の魅力を伝えてくれた
- ・芝居小屋ロックフェス辰巻：Instagramで共同主催者となり広報に協力

4 今後の課題等

(1) 団体（組織）活動を継続するための工夫等

今回やってみて、どれくらい費用と労力がかかるのかがわかった。

地域おこし協力隊をまもなく卒業するため、今後は活動費が使えなくなる。音楽イベントを開催する場合は、出演者や開催場所をより厳選する必要がある。遠方からの出演者がここまで多いフェスは、今後は難しい。また、豊岡劇場でロックフェスを開催できるということを実証はできたので、豊劇と共催で、今後も音楽イベントができないか提案していきたい。著名なアーティストから豊岡劇場でのイベントを希望されていると、田中支配人から相談を受けているので、共に実現したいと考えている。他、ミリオン座などでの自主企画も検討していく。

(2) 地域活動を拡大していくための工夫等

①豊岡ソングリリース

今回作成した豊岡ソングを、更に多くの市民に知っていただけるよう、リリース（CD化やネット配信）を検討中。そのために豊岡市民バンド、Imacoco Bandでレコーディングをしたい。

豊岡プチロックフェスへ豊岡副市長にもご来場いただき、豊岡ソング『今ココ TOYOOKA』について、お褒めの言葉をいただいた。豊岡への愛着が深まる曲として、豊岡の各イベントでも是非ご活用いただきたい。大学生もメンバーに含まれているImacoco bandなので、今後、メンバーの入れ替わりもあると思われるが、次世代へと繋げていきたい。

②豊岡から北近畿へ

今後も、地域音楽コーディネーターの資格を活かして、豊岡だけでなく北近畿全域に視野を広げて、音楽のネットワークを繋いでいきたい。足掛かりとして、まずは9月に福知山で開催される音楽イベントに個人で参加予定。

③高校生バンドが楽市楽座に出演

今回プチロックフェスに出演した高校生バンドを、関西万博の関連イベント『楽市楽座』の演者として、ご紹介させていただいた。豊岡プチロックフェスをきっかけに、豊岡の高校生が輝ける場が広がって嬉しい。

④ラジオの活用

今後もFMジャングルをうまく活用して、音楽の輪を広げ、地域活性化に貢献していきたい。



R7/6/8 photo by bozzo

出演者・来場者・スタッフみんなで記念撮影



TOYOOKA PETIT ROCK FES. 2025 © bozzo

R7/6/8 photo by bozzo

フィナーレ ゲストと共に全員総立ちで歌った



R7/5/30 豊岡ソング「今ココ TOYOOKA」の歌を録音
(近畿大学付属豊岡高等学校の軽音部 30名と共に)



TOYOOKA PETIT ROCK FES. 2025 © bozzo

R7/6/8 photo by bozzo

豊岡市民バンド『Imacoco band』で『今ココ TOYOOKA』を演奏